

5月12日(土)~7月8日(日)

福井市立郷土歴史博物館

- ◆開館時間：9:00~19:00（入館は18:30まで）  
○5月12日のみ10:30開場（平常展示は9:00よりご覧いただけます）
- ◆休館日：6月4日(月)、6月5日(火)、7月2日(月)、7月3日(火)
- ◆観覧無料（平常展示をご覧頂く場合は別途観覧料が必要です）

- 主催：「越前若狭の大工と絵図・道具」実行委員会  
福井市立郷土歴史博物館
- 後援：福井県 福井県教育委員会  
特定非営利活動法人日本伝統建築技術保存会  
社団法人福井県建築組合連合会 社団法人福井県建築士会  
社団法人福井県建築設計事務所協会
- 協力：財団法人竹中大工道具館 株式会社鶴工舎  
キャノンマーケティングジャパン株式会社
- 特別協力：特定非営利活動法人伝統文化技術研究会“とき”

平成19年企画展

越前若狭の大工と  
絵図道具

法隆寺の金堂や五重塔をはじめとする木造建築は、日本が世界に誇れる素晴らしい伝統文化です。これをつくったのは、宮大工あるいは堂宮大工と呼ばれる、寺社建築を専門に手掛ける大工たちでした。福井県内では、鎌倉時代に建立された明通寺（小浜市）の本堂・三重塔が現存する最も古い建築です。しかし、これまでの発掘調査によって、古代より堂塔伽藍を擁する寺院が存在していたことが確認されており、それを技術面で支えた大工の存在も想定できます。そして、中世には永平寺大工が台頭し、江戸時代になると旧金津町伊井の大工や旧武生市小野谷の大工、若狭小浜の大工なども活躍して、その技術は今日に至るまで連綿と受け継がれています。

今回の展覧会では、おもに県内で活躍した越前や若狭の大工たち、彼らが残した絵図や技術書などの記録、彼らが使っていた道具などを紹介し、越前や若狭の大工たちの優れた技術の一端を探ろうとするものです。



日本番匠記（個人蔵）

## 福井市立郷土歴史博物館

910-0004 福井市宝永3-12-1 TEL.0776(21)0489

✉ history@museum.city.fukui.fukui.jp

### ■交通アクセス

JR福井駅から徒歩約10分

京福バス：福井駅前11番のりば県立病院線

「歴史博物館養浩館庭園前」下車、徒歩3分

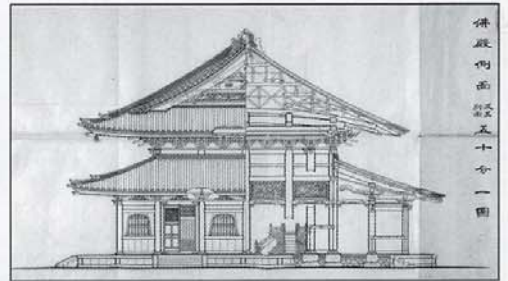
すまいるバス：田原・文京方面行「江戸上町」

下車、徒歩3分

福井北ICから：車で約20分



# 越前若狭の大工と絵図道具



永平寺仏殿側面図（大本山永平寺蔵）

### ■講演会の予定（テーマは仮題）

会場：福井市立郷土歴史博物館 講堂

5月19日(土) 13:30～

吉岡泰英（福井県文化財保護室）

「越前の大工、若狭の大工」

5月26日(土) 10:30～

海老崎栄次（海老崎組）

「錦帯橋の木組」

6月9日(土) 13:30～

上野幸夫（富山職藝学院）

「瑞龍寺の図面と山上善右衛門」

6月23日(土) 13:30～

渡邊晶（財団法人竹中大工道具館）

「木の建築をつくる技術と道具の歴史  
—古代・中世・近世を中心に—」

7月1日(日) 13:30～

国京克巳（若越建築文化研究所）

「伊井の大工、小野谷の大工」

7月7日(土) 13:30～

吉田純一（福井工業大学）

「大工と棟梁、昔の絵図面について」

大谷派福井別院上棟式道具（福井市立郷土歴史博物館蔵）